

# 関 まつり 紀行

関に伝わる「まつり」を紹介します

其の十六

## 天王祭り

かわいい子どもたちの健やかな成長と良縁を願う伝統のまつり「天王祭り」。地元では「ちようちん祭り」の呼び名で大切に受け継がれています。



「天王祭り」は、春日神社（南春日町）の祭礼で、毎年7月28日に行われています。別名「ちようちん祭り」とも呼ばれ、市指定重要文化財の能舞台にて行われる、夏の風物詩ともいえる伝統の祭りです。

竹の小枝につけられた小さな提灯ちようちんに、子どもの氏名、年齢、干支、性別を墨で書き、神前に捧げ、男子と女子の提灯を交換します。自分の提灯を手渡す代わりに、男の子は納められた女の子の提灯を渡され、逆に、女の子は男の子の名の書かれた提灯が手渡されます。付き添う親たちは子どもたちの健康を願うとともに将来の良縁を祈願するのです。

能舞台には津島神社の祠ほくらが祀られ、宮司による祭事のあと、春日神社の氏子らが次々と訪れる子どもたちから提灯を受け取り、子ど

もの年齢を確かめながら近い年の子の提灯を、手渡していきます。

天王祭りの日は、春日神社近くの商店街で提灯を購入し、ろうそくの明かりを灯した提灯をゆらゆらと手にして春日神社まで歩く、可愛らしい浴衣姿の子どもたちが見られ、幻想的な雰囲気きんぎょうが町中に漂うとともに、夏の訪れを告げてくれます。地元じもとに古くから伝わり、今もなお大切に受け継がれるお祭りです。

